

福岡県立図書館報

令和5(2023)年3月 No. 78

日常のむこう側へ

～ほんの少しの逸脱～



(C) ACROS Fukuoka

直木賞作家 東山彰良 氏

令和4年度読書推進講演会をアクロス福岡で行いました！

(1ページに関連記事があります。)

目 次			
公開講演会	P 1	パスファインダー(調べ方の近道案内)の紹介	P 5
子ども読書推進事業	P 2	子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人) 文部科学大臣表彰、福岡県教育文化表彰 「水害」をテーマにした地方史大会、オンライン社会科見学	P 6
福岡県の出版社との連携事業	P 3	図書館紹介動画の公開予告	P 7
施設職員・ボランティア研修 ボランティア養成講座	P 4	夏休み特別おはなし会 竹田文庫の移管	

公開講演会

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は様々な講演会を会場で開催することができず、オンライン開催で対応してきましたが、令和4年度は講演会を会場で実施することができました。その一部についてご紹介します。

アクロス福岡国際会議場リニューアルオープン記念 令和4年度読書推進講演会「図書館へ行こう！」 第15回日本図書館協会九州地区図書館の集い



東山彰良氏

令和4年12月10日（土）、リニューアルオープンしたアクロス福岡国際会議場において、アクロス福岡と共同主催で実施しました。

福岡県在住の直木賞作家である東山彰良氏を講師に迎え、福岡女子短期大学特任教授（元小郡市立図書館長）の永利和則氏を聞き手に、「日常のむこう側へ～ほんの少しの逸脱～」というテーマでご講演いただきました。

このテーマには、東山氏の「本を読むことも、小説を書くことも、日常から少し逸脱しつつ、同時にしっ

かりと日常を生きていないとできない。日常が乱れているときには、本を読むことも書くこともできない。その意味で、図書館の役割とは、日常から少し離れる時間を日常に組み込む場として機能することだ。」という思いが込められています。

講演では、作家になられたきっかけをはじめとし、執筆に関することや図書館との関わり方などについて、ユーモアを交えながらお話いただき、好評を博しました。



永利和則氏

令和4年度福岡県立図書館・放送大学コラボ公開講演会



山口裕幸氏

令和5年1月21日（土）、当館レクチャールームにおいて、九州大学大学院人間環境学研究院教授の山口裕幸氏を講師に迎え、「交渉と説得の社会心理学」というテーマでお話いただきました。

日常生活の中に起こりえる、意見の衝突や利害の対立について、どのような工夫をしながら他者とのコミュニケーションをとればよいのか、問題解決の手掛かりとなる貴重なお話を先生御自身の体験談を踏まえ、ご講演いただきました。参加者からは好意的な感想が多数寄せられました。

（総務企画室）

子ども読書推進事業

子どもの読書活動の推進には、図書館職員・教員・ボランティア・保護者などが各自の知識や技能を深めるとともに、それぞれが連携・協力していくことが重要となります。そのため、公益財団法人福岡県教育文化奨学財団と共催で、毎年子ども読書推進事業を実施しています。事業内容は以下のとおりです。

子ども読書推進支援事業「子ども読書推進講演会」

令和4年10月18日（火）、学習院大学文学部教授秋田喜代美氏に「子どもの読書習慣の形成の推進と読書環境」と題し、リモートでご講演いただきました。子どもにとっての読書の重要性について、国内外の豊富なデータをもとにお話しいただいたことで、「読書推進の活動にどのような効果があるのか自信をもって言えなかったが、たくさんデータで根拠を示してもらえてよかった」という声も聞かれました。



講演会の様子

青少年読書推進支援事業「青少年読書推進講座」

ゲーム司書として著名な高倉暁大氏、ボードゲーム制作者「ユニゲームス」に協力いただき、令和4年7月4日（月）と令和5年1月30日（月）に「ボードゲーム体験・評価ワークショップ」を開催しました。第2回講座では、初回受講者2名がスタッフとして参加するなど、規模を拡大しつつ受講者も成長できる講座となっています。



講座の様子

令和4年9月22日（木）には、講演会「DX時代における青少年読書推進のあり方」（講師：軽井沢風越学園教諭 有山裕子氏）を開催しました。オンラインによる学校図書館活動など、先進的かつ実践的な取組についてのお話でした。後日、県内の受講対象者向けにオンライン配信も行い、多くの方々に視聴いただきました。



講演会の様子

子ども読書スキルアップ支援事業「スキルアップ講座」

令和5年1月16日（月）、護得久えみ子氏に『知識の海へ、こぎだそう！～知識の本と「児童図書館基本蔵書目録」のはなし～』と題してご講演いただき、護得久氏の所属する東京子ども図書館の蔵書構成や選書の仕方に加え、子どもたちと接するうえで大事にされていることなどを伺うことができました。

参加者は、普段の業務で悩んでいることへの解決の糸口を得られたようです。（総合サービス室）



講座の様子

福岡県の出版社との連携事業

令和4年10月29日（土）、福岡県の出版社との連携事業講演会「明治・戦後の福岡の出版」を開催しました。

講演では、二つの時代の出版事情を取り上げました。

ひとつは、それまでの木版印刷に代わり、明治2年に導入された活字と活版印刷技術が、安価で迅速・多量の印刷を可能とし、新時代の政治や社会と結び付いた行政文書や教科書、新聞などが発行された時代。

もうひとつは戦後。印刷・出版事業に必要な原料や機械、技術・人材が集まり、文教都市でもあった福岡を中心に、学術雑誌や研究紀要、文芸雑誌、同人雑誌などが発行された時代。



首藤卓茂氏（古書かぼちゃ堂）

前半の講演は「明治の出版事情」と題し、近世・明治期の福岡の出版史や勤労働員などを主に研究されている古書かぼちゃ堂店主の首藤卓茂氏から、活版印刷にいち早く順応した新聞業界の変遷や、雑誌・版元（出版社）についてご紹介いただきました。

後半の講演は「焦土の興亡-戦後の出版事情-」と題し、火野葦平や戦後サークル運動、戦後地方出版史を主に研究されている火野葦平資料の会会長の坂口博氏から、福岡・佐賀・長崎3県の出版社25社の出版活動について、ご自身の経験を織り交ぜながらご講演いただきました。



坂口博氏（火野葦平資料の会）

休憩時間には、講演会に関連した資料を参加者に見ていただきました。皆さん、当時の図書や雑誌、新聞を興味深げにご覧になっていました。

アンケート結果では、多くの参加者からご好評いただき、「全く知らない事ばかりで驚いた。福岡県の本に関する豊かな土壌を実感できた。」「今日の話やレジュメを含め、改めて自分でいろいろ調べようと思った。」など多くの感想をいただきました。

内容が専門的で腑に落ちないところもあったようですが、この講演会が、参加者の学びのきっかけになってもらえればと思います。そして、福岡の事をもっともっと知っていただければ幸いです。



（ふくおか資料室）

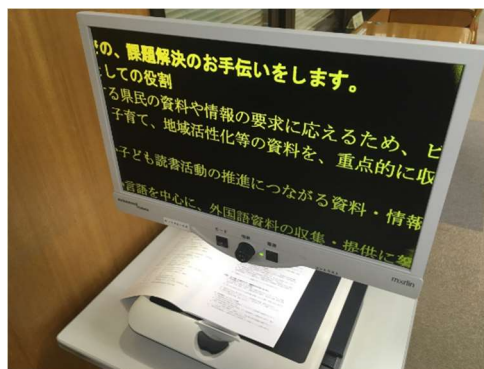
施設職員・ボランティア研修



ブレクストーク

当館長が会長を務める福岡県点字および録音図書連絡協議会の主催により、令和5年2月3日（金）に標記研修を行いました。

講師はメガネのヨネザワの本田孝文氏、演題は「視覚障害と支援機器」です。視覚障がいについての理解を深めるとともに、障がいにより読書に困難を抱える方を支援するための福祉機器について知ることができた研修でした。（左の写真は読書支援用の福祉機器です。）



拡大読書器

研修後半では、それらの機器を試用する時間もあり、参加者からは「実際に機器に触れることができて参考になった」、「見え方の違いや支援機器の内容などとても分かりやすく、理解も広がった」との声もありました。

また、当初は会場受講のみの予定でしたが、一部オンライン開催として実施したことで、遠方の職員等も参加しやすい研修とすることができました。

（総合サービス室）

ボランティア養成講座

新型コロナウイルスで中止していた録音図書製作（音声訳・校正）ボランティア養成講座を3年ぶりに開催することができました。

令和4年9月7日（水）から10月26日（水）までの間で全8回、講師に福岡県立図書館ボランティア「音訳の会」の峰恵氏、高本ユキノ氏をお招きし、録音図書製作に関する基礎知識・技能を伝える講座を実施しました。

受講者の中には、これから県立図書館のボランティアとして、活動していきたいという方もおられ、ボランティア活動について多くの学びを得る機会となりました。



峰恵氏



高本ユキノ氏



養成講座の様子

（総務企画室）

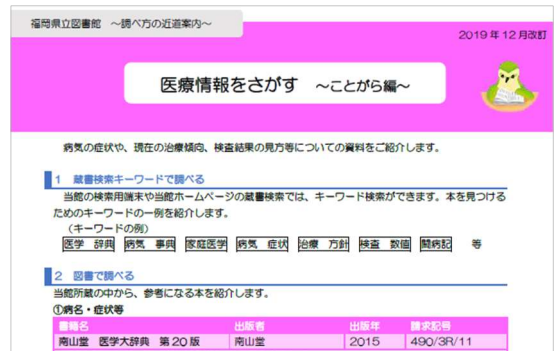
パスファインダー(調べ方の近道案内) の紹介

パスファインダー(調べ方の近道案内)はあなたの「知りたい!」をお手伝いします



調べたいことがあっても、どうやって調べればいいのか、調査の糸口に困った経験はありませんか?

そんなときには当館のパスファインダー(調べ方の近道案内)をぜひご利用ください。パスファインダー(調べ方の近道案内)とは、特定のテーマの調べものに役立つ資料や調べ方のノウハウを案内したリーフレットです。



医療情報や法律について知りたい!

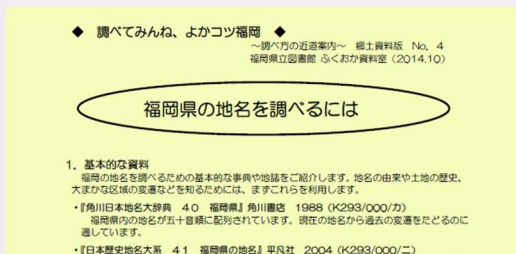
福岡県立図書館
調べ方の近道案内

(一般資料版 59 件)



一般資料版の他にも……

調べたい内容や調べる方の年齢にあったパスファインダーをお選びいただけます。



調べてみんな、よかコツ福岡
調べ方の近道案内

(郷土資料版 17 件)

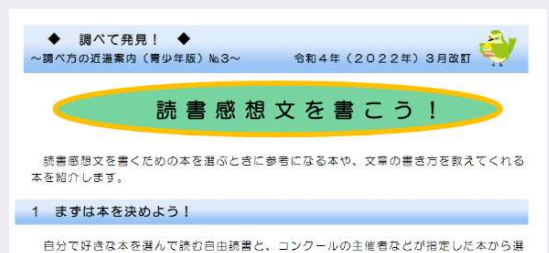


中高生世代の方に!

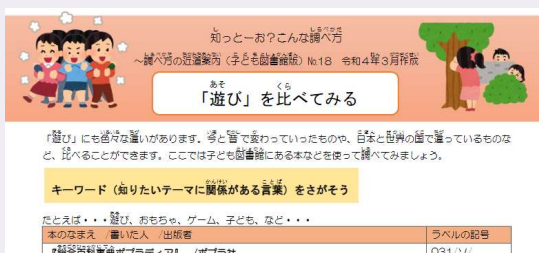


調べて発見!
調べ方の近道案内

(青少年版 13 件)



小学生以下のお子様!



知っとーお?こんな調べ方
調べ方の近道案内

(子ども図書館版 19 件)



子ども図書館トップ>しらべものをする>しらべもののおてつだい
※ PC(デスクトップ)表示でご利用ください

(資料支援室)

子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人） 文部科学大臣表彰、福岡県教育文化表彰

○子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰



葦津明美氏

福岡県立図書館布の絵本制作ボランティア「ゆずりはの会」の葦津明美氏が、令和4年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰を受賞されました。

葦津氏は、「ゆずりはの会」の設立に携わり、会の活動を通じて布の絵本の普及に貢献されています。

○福岡県教育文化表彰

福岡県立図書館協議会前会長の薬袋秀樹氏、福岡県立図書館音訳ボランティア「音訳の会」の高本ユキノ氏が、令和4年度福岡県教育文化表彰を受賞されました。

薬袋氏は、福岡県立図書館協議会の会長として中心的役割を果たされました。

高本氏は当館「音訳の会」で長く活動を続け、録音図書の大規模形式移行では中心的役割を果たされました。また、音訳者の育成にも長く貢献されています。



右から2人目が高本ユキノ氏
（総務企画室、資料支援室）

「水害」をテーマにした地方史大会、 オンライン社会科見学

令和4年6月25日（土）、「福岡県の洪水一次の世代に語り継ぐ、忘れてはならない歴史」をテーマに、第55回福岡県地方史研究協議大会（地方史大会）を開催しました。

3年ぶりに会場で開催した今大会では、県内各地から地方史研究者が集まり、遠賀川流域の洪水に関する古文書読解や、昭和28年西日本大水害のフィールドワークなど、多彩な調査に基づく研究発表が行われました。この内容は、福岡県立図書館ホームページで公開しています。

令和5年1月11日（水）、福岡市内の小学校と当館をインターネットでつなぎ、西鉄観光バス（株）が主催するオンライン社会科見学（小学4年生「伝統産業」「治水」「防災」「SDGs」を学ぶ編）に参加しました。

当館の職員2名が、カメラ越しに、所蔵する水害資料やデジタルライブラリ、防災についての調べ方を紹介。画面向こうの児童から、当館の蔵書についての質問があり、リアルタイムでのやり取りを行いました。



オンライン社会科見学の様子
（ふくおか資料室）

図書館紹介動画の公開予告

図書館紹介動画を作成し、令和5年4月以降に公開予定です。内容は、利用者の皆様が利用している施設の案内動画と、普段入ることができないバックヤードを紹介するものとなっています。

是非ご覧ください。



撮影の様子



(総務企画室)

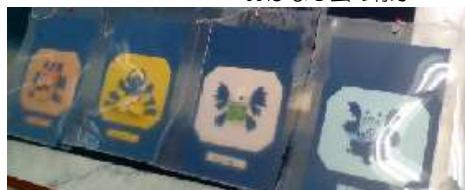
夏休み特別おはなし会



暗闇ではろうそくの灯だけがたより



おはなし会の様子



妖怪の切り絵をお土産に

令和4年8月6日(土)、毎年恒例の怖いお話ばかりの夏休み特別おはなし会を実施しました。怖い話を聞きながら、時折耳をふさいだり、隣のおともだちにしがみついたりする様子も見られました。

普段よく来館する子どもたちも、いつもと違う雰囲気 of 図書館を味わいました。

(総合サービス室)

竹田文庫の移管



竹田文庫は、福岡藩に仕えた儒学者であった竹田家伝来の資料で、その中の『黒田家譜』、『筑前国続風土記』、『益軒書簡』等は福岡県指定文化財に指定されています。

昭和47(1972)年から長年に渡り、当館が寄託を受け、研究資料として活用させていただきましたが、令和5(2023)年3月に大野城市に移管され、大野城心のふるさと館に収蔵されています。

デジタル資料やマイクロフィルムの複製資料は、引き続きご利用いただけます。(ふくおか資料室)

編集・発行/令和5年3月28日 福岡県立図書館

〒812-8651 福岡市東区箱崎1丁目41-12

TEL (092) 641-1123 (代) FAX (092) 641-1127

ホームページ <https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/> Twitter: @fukuoka_preflib

福岡県立図書館の二代目マスコット

キャラクターを襲名した

新「ふっきょん」。

